

株式会社タカラトミー 2014年3月期 第2四半期 決算説明会

2013年11月15日
証券コード: 7867

2014年3月期 第2四半期累計期間 決算概要 (2013年4月～9月)

株式会社タカラトミー
取締役 小島 一洋

連結損益計算書

(2014年3月期 第2四半期累計期間)

**TAKARA
TOMY**

単位:億円

	当第2四半期累計期間 (2013/4-9)			前年同期 (2012/4-9)	増減
	実績	8月8日修正	期初見通し	実績	
売上高	805	820	880	834	-29
売上総利益	273	—	—	271	2
営業利益	26	27	20	11	15
営業利益率	3.3%	3.3%	2.3%	1.3%	2.0%
EBITDA	65	—	—	46	19
EBITDA Margin	8.2%	—	—	5.6%	2.6%
経常利益	28	26	17	7	21
四半期純利益	1	1	5	-1	2

※ 金額は表示単位未満切捨て

※ TOMY International買収に伴うのれん償却、及び無形固定資産償却の合計 今期11億円、前期12億円

※ 7月に行ったトイズユニオン株式譲渡の影響は次のとおり(当第2四半期より連結外)

当第2四半期累計期間実績(カッコ内、前年同期実績)

売上高 45億円 (129億円)

営業利益 -0.1億円 (0.1億円)

経常利益 0億円 (0.5億円)

四半期純利益 0億円 (0.3億円)

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

※ ドル換算レート: 当第2四半期累計期間 98.85円、前期同期 79.41円

【ご参考】トイズユニオンを除く損益計算書 ※

**TAKARA
TOMY**

単位: 億円

	当第2四半期累計期間 (2013/4-9)	前年同期 (2012/4-9)	増減
売上高	759	705	54
売上総利益	271	266	5
営業利益	26	10	16
営業利益率	3.5%	1.6%	1.9%
EBITDA	65	46	19
EBITDA Margin	8.7%	6.6%	2.0%
経常利益	28	7	21
四半期純利益	1	-2	3

※連結業績からトイズユニオンの個別業績を単純控除

※金額は表示単位未満切捨て

販管費明細

(2014年3月期 第2四半期累計期間)

**TAKARA
TOMY**

単位:億円

	当第2四半期累計期間 (2013/4-9)	売上比	前年同期 (2012/4-9)	売上比
売上原価	532	66.1%	562	67.4%
販管費合計	246	30.6%	260	31.2%
人件費	95	11.9%	98	11.8%
広告宣伝費	38	4.8%	46	5.6%
研究開発費	8	1.1%	13	1.6%
物流費	34	4.2%	32	3.9%
TI買収に伴うのれん等 償却費	11	1.4%	12	1.5%

※金額は表示単位未満切捨て

地域別売上高 (2014年3月期 第2四半期累計期間)

**TAKARA
TOMY**

単位: 億円

地域	当第2四半期累計期間 (2013/4-9)	前年同期 (2012/4-9)	増減
日本	474	554	-80
北米・欧州・オセアニア	275	235	40
アジア	42	34	8
その他	13	10	3
合計	805	834	-29
海外売上比率	41.1%	33.6%	7.5%

※金額は表示単位未満切捨て

特別損失の内訳 (2014年3月期 第2四半期累計期間)



単位: 億円

科目		金額	内容
特別損失	投資有価証券売却損	2.3	(株)インデックス株式売却
	関係会社株式売却損	3.1	(株)トイズユニオン株式譲渡
	その他	1.6	保有する投資有価証券の評価損、固定資産除却・売却損など
		7	

※金額は表示単位未満切捨て

連結貸借対照表

(2014年3月期 第2四半期累計期間)

**TAKARA
TOMY**

単位:億円

科目	当第2四半期累計期間 (2013/4-9)	前年同期 (2012/4-9)	増減
流動資産	898	854	44
固定資産	660	667	-7
総資産	1,559	1,522	37

流動負債	486	398	88
固定負債	567	651	-84
負債合計	1,053	1,050	3
純資産合計	506	472	34

自己資本	487	453	34
自己資本比率	31.2%	29.8%	1.4%

たな卸資産	243	190	53
-------	-----	-----	----

現金及び預金	311	304	7
有利子負債合計	662	645	17
借入金	535	507	28
社債、新株予約権付社債	127	138	-11

※ ドル換算レート：当第2期半期末 97.75円、前期同期末 77.60円

※金額は表示単位未満切捨て

2014年3月期 上期事業報告

株式会社タカラトミー
代表取締役社長
富山幹太郎

- 国内事業
国内玩具事業の安定的な収益基盤づくり
- 欧米事業
投資原資を欧米へ集中投下し、グローバル化促進
- アジア事業
成長するアジアでの事業トライアルによる次世代事業形成

国内事業 人気キャラクターとの連動 ①

TAKARA
TOMY



大人気アプリ LINE
ユーザー数2億8,000万人 突破！
スタンプ・キャラクター人気拡大中！



TVアニメ放映
漫画掲載



アンテナを高く、
世の中で流行っているものを
積極的に商品に取り入れる



連続テレビ小説 あまちゃん



サン宝石
SUNHOSEKI



2010年に誕生し、
JS(女子小学生)で大ブーム
の人気キャラクター



2012年稼動開始！
小学生男児に大人気の
アーケード筐体！
アニメ化決定でさらに
盛り上がります！

©Konami Digital Entertainment

国内事業 人気キャラクターとの連動 ②

TAKARA
TOMY

玩具事業の強化：トレンドを玩具に取り込む

LINE
TOWN

ぬいぐるみ、フィギュア、スマートフォン型玩具など豊富な商品展開



ほっぺちゃん

小型液晶ゲーム、コレクションハウスをはじめとして、ほっぺちゃんの魅力を存分に生かした商品展開



TOMIX

連続テレビ小説「あまちゃん」に登場した車両を精密なNゲージ鉄道模型でリリース。ガチャでも関連商品を展開



Gacha



オレカバトル

アーケード筐体と連動できる液晶ゲームなど、人気コンテツを一斉玩具展開！



©Konami Digital Entertainment

玩具事業の強化：新たな遊びや楽しみ方を提案

New**アニア**
アニマルアドベンチャー

トミカ、プラレールに続く、
「動物」テーマの新ブランド誕生。飾るだけでなく、動かして“遊べるフィギュア”。楽しく遊びながら、動物の多様性や特徴、魅力を立体的に体感

**プラレール**

10月、トミカとプラレールが初の映画化
40年、50年を超える歴史を持つトミカ、プラレールに新しい楽しみ方を提案

**こねだちゃん**

大手外食チェーンとのマーケティング連動やサンリオとのコラボレーションで販売拡大



玩具事業の強化：トレーディング・カード売上回復に向けたマーケティング強化

会社計画対比 120% (※事業部売上高)

- TVアニメ放送枠の拡大(30分 ← 15分)
- きめ細かな「ティーチング」の実施
- 過去最大規模の大型イベントの開催

新規層の囲い込みと育成



トランスフォーマー輸出好調

会社計画対比 **140%**(※事業部売上高)

**TRANSFORMERS
CONSTRUCT
BOTS**



**BEAST
HUNTERS**



新しい商品ラインの輸出が計画を上回って推移
ハリウッド映画第4弾が2014年夏に公開予定

玩具周辺事業の強化

ポケモンレッタ 事業開始1年(2012年7月開始)
累計出荷枚数8,700万枚突破

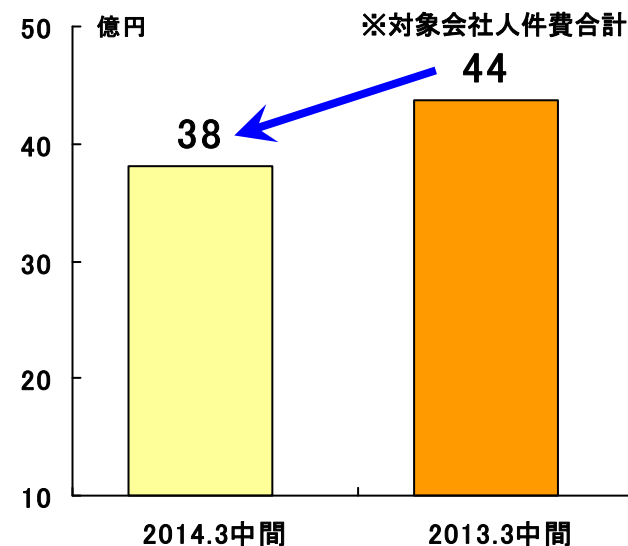


“ポケモンをさがす、ポケモンを
つかってバトルする、ボールを
投げてつかまえる”をアミュー
ズメントマシンで再現



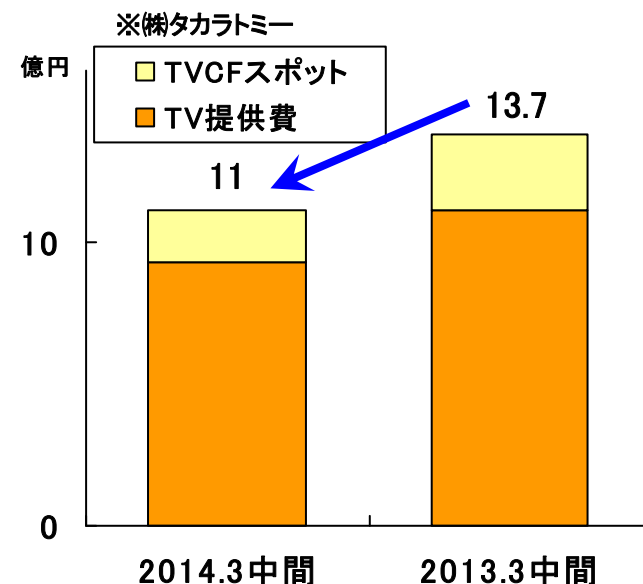
人件費の抑制

- 2013年3月:138名の希望退職募集実施
- 対象:タカラトミーおよび国内連結子会社4社
(タカラトミーマーケティング、タカラトミーロジスティック、タカラトミーエンジニアリング、タカラトミービジネスサービス)



広告費の削減と変動費化

- TV提供枠の見直し
- TVCFスポットによるフレキシブルなマーケティング実施



コア事業の強化を図るグループ再編

✓ 7月 TVゲーム関連商材卸「トイズユニオン」株式を全て(株)ハピネットに譲渡

(目的)

- コア事業に集中
- コア事業をさらに拡大

収益の拡大・経営効率化を実現

✓ 譲渡価格 : 18.5億円

✓ 第2四半期以降の連結業績に与える影響 : 売上高△290億円、営業利益軽微
(※8月8日公表の業績予想で影響を折込済み)

【参考】トイズユニオンの経営成績および財政状態

単位: 億円

	2013.3期	2012.3期	2011.3期
売上高	353	286	310
営業利益	2.9	1.0	1.2
純資産	21	19	19
総資産	58	58	89

欧米事業 ポケモン関連玩具のグローバル展開 ①

TAKARA
TOMY

TOMY Internationalとのクロスセリングを促進し、成長シナリオを構築

最新ゲームソフトの発売と新シリーズのTVアニメ放送開始に合わせて、世界各地でポケモンの玩具展開を開始
欧米におけるポケモン玩具の商品化ライセンスをTOMY Internationalが取得したことにより、従来の日本・アジア地域に加えて、世界各地で初の同時発売



© 2013 Pokemon

© 1995-2013 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. TM, ,
and character names are trademarks of Nintendo.

欧米事業 ポケモン関連玩具のグローバル展開 ②

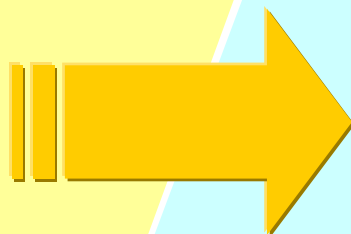
TAKARA
TOMY

TOMY Internationalとのクロスセリングを促進し、成長シナリオを構築

日本で開発した商品を全世界で展開するだけでなく、
TOMY Internationalが独自に開発し、欧米でヒットしたポケモン関連商品を日本でも発売



TOMY International
「Clip 'N' Carry Pokeball」



日本
「モンスターボール&ケロマツ」



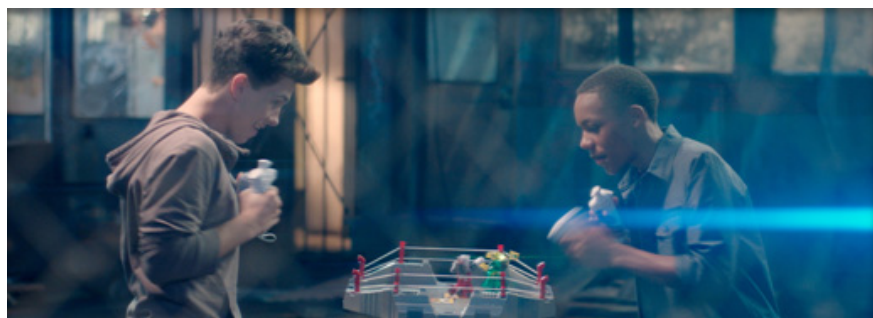
TOMY Internationalとのクロスセリングを促進し、成長シナリオを構築

日本発商品「バトロボーグ」

昨年7月発売し、日本で人気商品となっている「バトロボーグ」をTOMY Internationalで秋より販売スタート
フランス、ベルギーでは「Toy Of The Year」を獲得



BATROBORG



アジア事業 ASEAN向け低単価商品の拡販

TAKARA
TOMY

インドネシア「Animal Wheels」発売

現地の子どもたちが好む「自動車」と「動物」を
独自キャラクターとしてデザイン採用。日本の
メンコに似た遊び。1個約50円



「Pokemon Craft Figures」 年内発売予定

ASEANオリジナル商品
企画:カードの状態から
パーツを抜き、組み立てる
と立体のポケモンフィギュア
が出来上がる。各国で
買いやすい価格帯にて発売。
1個約150~160円



©1997 Nintendo, Creatures, GAME FREAK, TV Tokyo, ShoPro, JR Kikaku.
©Pokémon.

トミカ店頭拡販

- ✓ ASEANにおける売場の拡大
- ✓ イベント実施による販促



新商品アニア導入

- ✓ 日本で発売したばかりの新商品を早速、ASEANで販売開始



リスク

- 国内外の玩具市場悪化
- 遊びの多様化によるビジネス競合の激化（ソーシャルゲームなど）
- 先行き不透明感を増す世界経済
- 原材料価格の上昇・為替

チャンス

- TIとのクロスセリング本格化
＜ポケモン、バトロボーグ＞
- トレーディング・カード好調
- ハスブロ社への輸出好調
- 新商品積極投入



本資料には、タカラトミーの現在の見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または事業展開を確約したり、保障するものではありません。